

廣瀬豊一

旧名

山田豊一

ひろせ・とよいち

やまだ・とよいち

医学博士、産婦人科医

経歴

生: 明治20年(1887年)2月26日、広島県福山市寺町生まれ

没: 昭和45年(1970年)12月5日、大阪市江戸堀の自宅で逝去、享年84歳

明治40年(1907年)	20歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
大正3年(1914年)	27歳	大阪府立高等医学校卒業
大正3年(1914年)	27歳	大阪府立高等医学校産科婦人科学教室(緒方十右衛門教授)入局
大正5年(1916年)～ 大正8年(1919年)	29～ 32歳	東京帝国大学医学部病理学教室(山際勝三郎教授)研究生
大正9年(1920年)	33歳	論文発表 (1) 黄体発生に関する実験的組織的研究[東京医学会誌34] (2) 卵巣と胎盤との相互関係に関する実験的研究(第18回日本婦人科学会総会)[日婦会誌15] (3) 家兎卵巣黄体の人工的発生に就て(大正婦人科学会第12回例会)[日婦会誌15]
大正10年(1921年)	34歳	日本婦人科学会賞[日婦会誌16]
大正11年(1922年)	35歳	医学博士(東京帝国大学[第36号])
大正12年(1923年)	36歳	府立大阪医科大学産婦人科講師
昭和7年(1932年)	45歳	私立産婦人科広瀬病院創設
昭和24年(1949年)	62歳	近畿産婦人科学会会長、大阪産婦人科医会会長
昭和25年(1950年)～ 昭和35年(1960年)	63～ 73歳	大阪府医科優生法保護指定医審査委員長
昭和28年(1954年)	66歳	高山賞(妊娠後半期に於ける脱落膜細胞の変化[産婦進歩4])
昭和28年(1953年)～ 昭和34年(1959年)	66～ 72歳	近畿産婦人科学会学術委員長
昭和29年(1954年)～	67～	日本産科婦人科学会理事

昭和33年(1958年)	71歳	
昭和29年(1954年)～ 昭和39年(1964年)	67～ 77歳	日本母性保護医協会副会長
昭和32年(1957年)	70歳	日本不妊学会会長
昭和33年(1958年)	71歳	日本産科婦人科学会名誉会員
昭和42年(年)4月29日	80歳	勲三等瑞宝章授章
—	—	日本母性保護医協会名誉会員
—	—	近畿産婦人科学会名誉会員
—	—	大阪産婦人科医会顧問
—	—	国際不妊学会名誉会長

誠之館所蔵品				
管理No.	氏名	名称	制作／発行	日付
05546	朝日新聞阪神支局	『花の下影 幕末浪花のくいだおれ』	清文堂出版(株)	昭和61年
05444	広瀬正巳 著	『廣瀬家系譜「幕末浪速の画集“花の下影”作者のルーツ探究』(コピー)	広瀬正巳	平成3年
05445	岡田逸一 著	『自分史(岡田家並逸一の略伝)』(未刊原稿、コピー)	岡田逸一	—

出典1:『廣瀬家系譜「幕末浪速の画集“花の下影”作者のルーツ探究』、広瀬正巳著刊、平成3年12月30日

出典2:『自分史(岡田家並逸一の略伝)』(未刊原稿)、岡田逸一著

2009年7月3日追加●2009年7月6日更新:氏名・誠之館所蔵品●2009年9月1日更新:誠之館所蔵品●2009年12月18日更新:誠之館所蔵品●